

メディカルスタッフ育成研究助成

1. 目的

メディカルスタッフによる研究実施を支援し育成を図るとともに、糖尿病療養指導をテーマにしたエビデンスを創出すること。

2. 研究テーマ

糖尿病療養指導に関する研究。

- ・研究への意欲・着眼点を重視します。
- ・詳細な研究計画については、メンターのサポートを受け採択後に立案することも可能です。
- ・日本糖尿病協会制作の教育ツールに関する調査も歓迎します。

3. 研究期間

1年（課題により3年まで延長可）。

4. 助成金と採択件数

1件50万円以内として、数件程度。

※研究内容に応じて助成額を決定します。採択時には助成額を決定しない場合もあります。

5. 研究遂行に際する要件

研究代表者は日本糖尿病協会が選任するメンターによる進捗確認を受けること。

※メンターは、採択後に当協会本部幹事等の中から担当者を選任します。

6. 応募資格

研究代表者は以下の条件を満たすこと。

- (1) わが国の医療機関に勤務する看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師等のメディカルスタッフ。教育・研究機関所属のメディカルスタッフは若手研究者助成へ応募してください。
- (2) 日本糖尿病協会の会員であることが望ましい。
- (3) 研究代表者は、第8回日本糖尿病療養指導学術集会へ参加してください（2021年7月24・25日開催）。

※ 同一機関からの応募課題は、①-③の各助成を通じ1件に限ります。

※ 昨年度、当協会からの助成を受けた者の応募は不可とします。

7. 応募方法

研究代表者は、日本糖尿病協会ホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入して、原本1部とコピー10部を日本糖尿病協会事務局に送付してください。なお、応募書類は返却しません。

送付先：日本糖尿病協会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 麹町セントラルビル 8F

※ 封筒に「メディカルスタッフ育成研究助成」応募書類在中と朱記のこと

8. 応募期間

2020年11月2日（月）～12月25日（金）必着

9. 選考方法および発表

日本糖尿病協会の学術委員会において選考し、理事会で決定します。

[評価項目] 1. 研究への意欲

2. 研究の着眼点

（詳細な研究計画はメンターのサポートを受け採択後に立案することも可能です。）

3. 研究代表者の学術研究にかかる実績ならびに患者教育・地域連携などの活動実績

2021年2月中に研究代表者に対して選考結果を通知するとともに助成金を交付します。また、選考

結果はホームページ等でも公表します。

10. 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、申請課題の研究に要する物品の購入費用およびその他必要な費用。旅費や備品の購入も可としますが、助成額に占める割合が著しく高くないよう留意してください。

11. 研究成果の報告

- (1) 指定された研究メンターを通じ、年間3回程度の研究進捗確認を行います。
- (2) 研究代表者は、2022年3月末日までに研究報告書と収支報告書を提出してください。
- (3) 第9回日本糖尿病療養指導学会（2022年7月）にて研究成果を報告してください。
- (4) 研究成果を学術専門誌へ投稿する。発表する際は、日本糖尿病協会メディカルスタッフ育成研究助成（Grants for medical staffs from Japan Association for Diabetes Education and Care）による旨を記載するとともに、日本糖尿病協会に刊行物の写しを提出してください。
- (5) 日本糖尿病協会の会誌である「月刊糖尿病ライフさかえ」およびホームページに、当該課題についての寄稿を依頼することがあります。患者、一般市民が購読する誌面であることを留意してください。

応募資格についてのQ&A

Q1.

大学の薬学部の教員ですが、薬剤師として大学病院の薬剤科でも勤務しています。メディカルスタッフ育成研究助成に応募することはできますか？

A1.

メディカルスタッフ育成研究助成は、臨床現場で糖尿病療養指導に携わっている医療スタッフに研究の機会を持ってもらうことを目的としています。兼務であっても、既に教育機関・研究機関で研究の機会を得ている方は対象外となります。若手研究者助成への応募をご検討ください。

Q2.

大学病院の看護師です。大学病院は「教育・研究機関」になりますか？

A2.

病院の部署のみに所属されている場合は、メディカルスタッフ育成研究助成に応募できます。

Q3.

現在、市立病院勤務の管理栄養士です。来年度から、大学の栄養学部で助教となる予定です。今年度のメディカルスタッフ育成研究助成に応募することはできますか？

A3.

A1に記載の通り、今後研究の機会を得られる予定の方は、メディカルスタッフ育成研究助成ではなく、若手研究者助成への応募をご検討ください。